

2025.1
Vol.1
2025年1月24日発行

近畿農政局大阪府拠点

OSAKA MAFF 通信



目次

- P1. 大阪の風景
- P2. 令和7年度農林水産関係予算の概要、みどりチェックについて
- P3. 大阪府拠点の活動紹介
- P4. 大阪産（もん）の紹介
2025年農林業センサスへのご協力をお願い



真冬の大阪城

大阪府拠点の東にどっしりと
聳え立つ大阪城

編集・発行

近畿農政局大阪府拠点
〒540-0008
大阪市中央区大手前1-5-44
大阪合同庁舎第1号館 6階
☎ 06-6943-9691



大阪府拠点HP

令和7年度農林水産関係予算の概要

※令和6年12月27日閣議決定

食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、食料安全保障の強化、環境と調和のとれた食料システムの確立、農業の持続的な発展、農村の振興等を図るため、農業の構造転換の実現に向けた施策を初動の5年間で集中的に実行するとともに、農林水産業の持続可能な成長を推進します。

7つの柱（重点事項）

- 1 食料安全保障の強化
- 2 農業の持続的な発展
- 3 農村の振興
- 4 みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化
- 5 多面的機能の発揮
- 6 カーボンニュートラルの実現・花粉症解決に向けた 森林・林業・木材産業総合対策
- 7 水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化



詳しく知りたい方はこちら

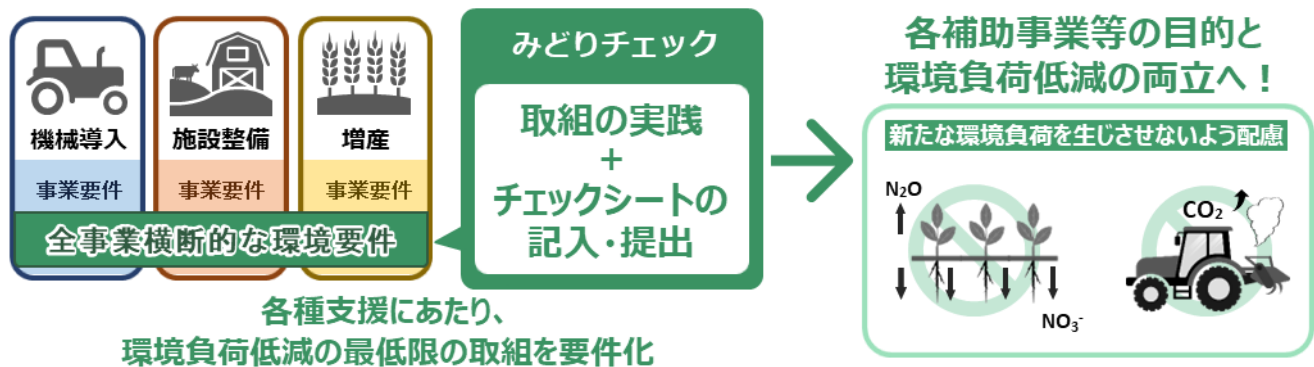
「みどりチェック」に取り組みましょう！ （環境負荷低減のクロスコンプライアンスについて）



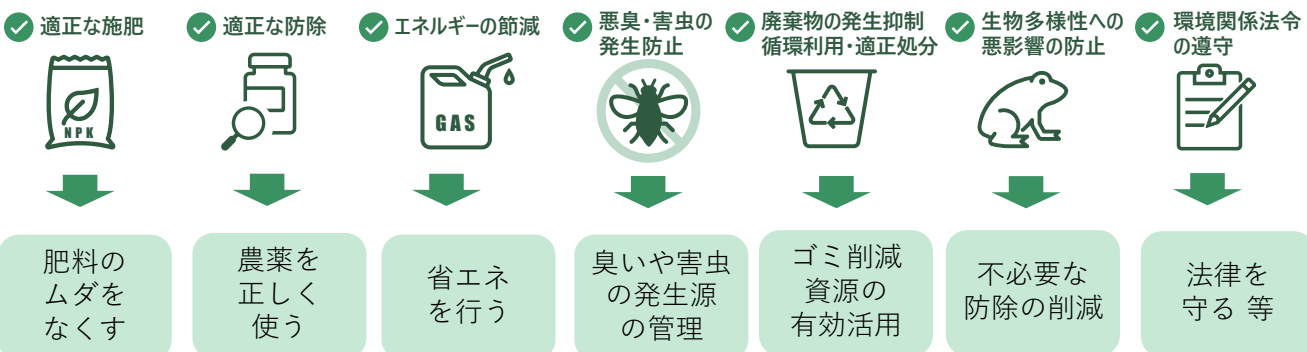
詳しく知りたい方はこちら

農林水産省の全ての補助事業等において、チェックシート方式により、最低限行うべき環境負荷低減の取組の実践を要件化するものです。これにより、事業を実施する際に新たな環境負荷が生じないようにし、環境にやさしく、生産性も高い農業を確立することを目的としています。

また、環境にやさしい取組を実践されていることを明らかにし、消費者の理解と評価を深めることにもつながります。



「みどりチェック」の7つの基本的な取組とポイント



大阪府女性農業者交流会を開催しました

令和6年12月11日(水曜日)、近畿農政局大阪府拠点会議室にて、「**農業の発展に向けて私たちができること／やりたいことを考えよう！**」をテーマに「大阪府女性農業者交流会」が開催され、15名(オンライン参加を含む)の女性農業者が参加されました。

冒頭、摂南大学農学部副島久実准教授が「大阪の農業にかかわる女性たち～面白さやモヤモヤを語り合ってみませんか?～」をテーマに講演され、引き続き、3名の女性農業者がそれぞれの取組紹介をされました。

その後、「農業を通じた生き方や働き方の魅力、幸せ」、「農業を通じた生き方や働き方の課題、モヤモヤ」、大阪の農業の発展にむけて「こんなことしてみたい!」をトークテーマに3班に分かれてグループトークを行いました。活発な意見交換でそれぞれの農業への思いが出され、盛況のうちに終了しました。

参加者からは、この交流会の開催の継続を望む声意見も多く寄せられたことから、当拠点としては、第2回交流会の開催について、検討したいと考えています。



【交流会参加者】



【グループトーク】

近畿農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第8回)選定証を授与しました

近畿農政局は、近畿地区で特徴ある優れた取組を「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定しており、大阪府からは、ビジネス・イノベーション部門で株式会社里山創生研究所が選定されました。

里山創生研究所は、大阪府北部の豊能町で、有害鳥獣や棚田等の地域の資源を活用した農家宿レストラン事業、ジビエの食肉処理加工事業、棚田を再生したワイナリー事業を展開しています。また、農業関係人口を増やすために、狩猟体験や田植え体験等のイベントを開催し、地域住民だけでなく都市住民も巻き込み、地域の活性化に貢献されています。

近畿農政局大阪府拠点は、令和6年12月25日、同研究所が経営する農家宿レストラン「オーベルジュヤマガミ」において、山上代表取締役に対して選定証の授与を行いました。

詳細はこちらから(里山創生研究所HP)→ <https://www.satoyamasouken.co.jp/about>



【授与式(手前:葛谷地方参事官、奥:山上代表)】



【記念撮影】

近畿農政局大阪府拠点では府内の農業者等と意見交換を行っています。(フォトレポート)
詳細は[こちら](#)から→



「大阪産（もん）」について

大阪産（もん）とは、大阪府内で生産された農林水産物とその加工品のことです。
（令和6年12月現在約280品目）



← 大阪産（もん）に付けられているロゴマークは、大阪もんの言い換えである「品」をモチーフに「農産物や林産物などをイメージする萌葱色」、「魚介類などをイメージする孔雀青」、「つくり手の温かみや情熱など「大阪産（もん）」を支える人々をイメージする金茶色」を3つの「円」で表し、様々な主体の活動や連携の「輪・環」を築き広げることを表しています。

季節の大阪産（もん）→

大阪の冬の定番鍋野菜といえば「**泉州きくな（春菊）**」

大阪で「きくな」と呼ばれる春菊は、大阪府が出荷量で全国1位であり、特に泉州地域で多く栽培されています。



あなたの**回答**が 農業・林業の**未来**につながる

令和7年2月1日現在

2025年 農林業センサス

農林水産省



地方参事官ホットライン



農政に関するご相談、事業や制度へのご意見等がございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせください。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしております。

TEL：06-6941-9658 Email：hotline_kinkiosaka@maff.go.jp